

## 債務帳消しキャンペーンニュースレター

2008年6月

### 貧しい国々の債務はどうなっているか？

ジュビリー2000 債務帳消しキャンペーンは、世界の最も貧しい国々の債務を帳消しするため、全世界で有名人や多くの団体から支援され、150ヶ国以上の国々で2,100万人もの署名を集めてギネスNo.1になった。この影響でG8サミットも大部分の債務の帳消しを約束した。だがキャンペーンが終わった2000年末には債務の一部だけしか帳消しされていなかった。

しかし、帳消しキャンペーンは貧しい国々が教育、医療、福祉などの予算よりも債務返済予算の方が大きいということを明確にした。最も貧しい国々はなぜ自国の貧しい人々への援助より銀行や豊かな国々への返済を優先しなければならないのか。多くの人々が栄養失調で苦しんでいる時になぜ食料を輸出し、そのお金で返済しなければならないか。世界中で人々は憤慨した。

これは昔話ではない。最近のニュースでハイチの貧しい人々は泥クッキーを食べている。それなのに国は毎週世界銀行などに\$1,000,000を返済しなければならない。

又債務返済のため福祉予算が殆どなく、多くのアフリカの国々では国内で働いている医者の数より外国で働いている医者の数の方が多い。例えばモザンビーク出身の医者の75%は海外でアンゴラは70%、ガーナ56%、ケニアは51%、ルワンダは43%、スーダンは13%だ。

2004年、ジョン・パーキンス著「エコノミック・ヒットマン」は債務の原因の一つを初めて明らかにした。エコノミック・ヒットマンとは経済の殺し屋の意味だ。パーキンス氏はそのヒットマンの一人だった。豊かな国々は貧しい国々にお金を（豊かな国々から）沢山借りる事

を勧めた。貧しい国々は豊かな国々から沢山借金して返済不能となった。そして返済の代償に（貧しい国々の）経済構造を変えて貰うと豊かな国々が命じる。これは構造調整プログラムのことだ。又返済不能を利用して貧しい国々に国連での支援、軍事基地、地下資源などを入手することができた。しかしパーキンス氏によれば貸した国々は借りた国々が返済不能になる事は貸す前から分かっていた。債務をわざと造って貧しい国々を支配する計画だった

パーキンス氏の告白の後、他のヒットマンも告白している。A Game As Old As Empire（ステイヴン・ハイヤット主筆）はその一冊だ。この本は豊かな国々の銀行が貧しい国々の政治的リーダーのお金を奪うことに関わっている事も明らかにした。そして、債務は2000年末よりもさらに増えている事を明らかにした。\$3兆を超える。債務返済は年間\$3,700億で援助額を超える。このため帳消しキャンペーンはこれからも続けなければならない。

債務の一つの原因は貧しい国々を搾取する為の陰謀という事は分かっている。「エコノミック・ヒットマン」には日本の事は書いていないがアジア太平洋資料センター（日本での債務帳消しキャンペーンの中心）によれば最も貧しく、最も債務負担が大きいとされている国々40ヶ国にとって、最大の債権国は日本だ。日本の色々な施設はどのぐらい貧しい人々の犠牲において建てられたのだろうか？

私たちが貧しい人々を苦しめる事を望んではない。本当の意味で貧しい人々を助けたいと思えば、また債務問題を解決したいと思えば、先ず豊かな国々は搾取を止めなければならない。

日本の政治家、官僚、銀行などに「搾取を止

めてくれ！」という気持ちを伝えよう。

4月に米国でジュビリーUSの3年越しのキャンペーンが実り、下院で「ジュビリー法案」が可決された。又4月に世銀で汚い・不当債務に関する会議が開かれた。世銀も汚い債務を認めているのだ。

ガンビアは、昨年12月21日、IMF、世銀、アフリカ開発銀行などの国際金融機関との間でHIPCイニシアティブ（構造調整プログラム）をめぐる7年間もの長い交渉が終わり、1億4,000万ドルの債務帳消しを受けることが出来た。これは、債務総額の27.7%に当たる。HIPCイニシアティブを「達成した」とされるのは32カ国である。この中でガンビアは債務帳消しを受けた23番目の国となった。

残念ながら今年のサミットの議題に債務は入っていないようだ。しかし債務帳消しするキャンペーンを続けるためサミットの前と間に講演会や勉強会も開催予定。ぜひ、御参加下さい。

### サミット関連の講演会のお知らせ

◎私たちの税金が貧困を作るーアジア・アフリカそして日本

共催：Jubilee South、聖コロンバン会、アジア太平洋資料センター（PARC）、ATTAC Japan（首都圏）、債務と貧困を考えるジュビリー九州

時間：13時30分～16時30分

会場：アジア太平洋資料センター（PARC）2F会議室

千代田区神田淡路町 1-7-11 東洋ビル（Tel: 03-5209-3455）

交通：都営地下鉄「小川町」駅、メトロ「淡路町」「新御茶ノ水」駅から徒歩2分等

◎スーザン・ジョージ講演「G8 サミットの何が問題なのか？」

場所：文京区民センター3A

交通：都営地下鉄春日駅1分、東京メトロ南北線後樂園駅3分、JR水道橋駅10分

地図：

<http://www.city.bunkyo.lg.jp/gmap/detail.php?id=1754>

時間：18時開始

会場費：前売りチケット500円、当日800円

《スーザン・ジョージ》

多国籍企業や第三世界の問題などについて発言・行動する現代を代表する知識人の一人。デビュー作『なぜ世界の半分が飢えるのか』は世界の人々の魂を揺り動かすベストセラーとなる。『WTO徹底批判!』、『徹底討論 グローバリゼーション』、『オルター・グローバリゼーション宣言』、『世界銀行は地球を救えるか——開発帝国50年の功罪』、『債務ブーメラン——第三世界債務は地球を脅かす』、『食糧と女性——フェミニズムの視点から』などグローバリゼーションの問題に取り組んだ著書多数。

札幌でもサミットの前とサミットの間世界に世界にのNGOが参加する講演会や勉強会も開かれます。詳しくは

<http://www.jca.apc.org/alt-g8/?q=ja/node/215>

パンフレットの紹介

「援助」のオカネはどこ行った？発行：アジア太平洋資料センターなど。価格：300円  
EURODAD が発行した ‘Skeletons in the Cupboard: Illegitimate Debt Claims of the G7’ の翻訳したものだ。

マッカーティン・ポール

〒158-0098 東京都世田谷区上用賀 4-1-10  
聖コロンバン会

Tel 03 - 3427 - 9427

Fax 03 - 3439 - 7792

Email [pmccartin@gmail.com](mailto:pmccartin@gmail.com)